

# 2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(12)番 福山市立 培遠中 学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	論理的思考力	コミュニケーション力	実践力(高い奉仕の精神)
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	身の回りの様々な現象について「なぜだろう」と考えるとともに、自分なりの解決策を考えることができる。	様々な事象の理由や原因を「なぜならば」という言葉を用いて、考えたり説明したりできる。	TPOにより相手の立場に立って考え、自分の意見を伝えたり、行動したりすることができる。	身のまわりや地域の課題を自分たちで解決しようと進んで行動することができる。

## 2 授業の現状

- 思考ツールやICT等の活用による主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくりにより、多くの生徒は学習内容に関心をもち、前向きに授業に取り組んでいる。
- 「かく活動」により、基礎学力や言葉の力が高まりつつある。
- 身の回りのものごとを自分事として捉え、主体的に学ぶ生徒はまだ少ない。

転換

## 3 めざす授業の姿

- 「自ら考え学ぶ」授業
- ・単元のゴールを明確にし、生徒が自ら問いを立てたくなるような課題を設定する。
- ・「かく活動」により、子どもが自分の「問い」や「ふり返り」を自分の言葉で表現し、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を行う。

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①単元ごとに、生徒の問いを中心とした課題発見・解決の場を取り入れる。 ②授業内に「かく活動」を取り入れる。 ③生徒に「自分で決める」場面を設定し、適切な評価を行う。	①単元ごとに、生徒の問いを中心とした課題発見・解決の場を取り入れている教師の割合は60.9%。 ②ふり返りで分かったことや分からなかったこと等を具体的に書くよう指導している教師の割合は69.6%。 ③生徒が自己決定する場をつくっている教師の割合は82.6%。	①生徒が問いを出しやすい場づくりとして、プレストなどの手法の研修をもち、活用する。 ②生徒に自分の考えを書かせるだけでなく、書かせたものを評価したり、通信などで紹介したりする。 ③よりよい自己決定の土台として、自己決定のスキル学習を取り入れる。	①単元ごとに、生徒の問いを中心とした課題発見・解決の場を取り入れている教師の割合は83.3%。 ②ふり返りで分かったことや分からなかったこと等を具体的に書くよう指導している教師の割合は61.1% (▼) ③生徒が自己決定する場をつくっている教師の割合は88.9% (△)	①育成する力を高めるための次世代型キャリア教育の教材を導入する。 ②かく活動の目的を伝えるとともに、生徒の作品掲示などを積極的にを行う。 ③引き続き、自己決定のスキル学習を取り入れるとともに、良い実践を学校全体で共有する。	①2学年において次世代型キャリア教育を導入し、教師にとっても課題発見・解決型の学びについての研修となっている。 ②「かく」活動の取り組みとして、1年生日本語検定、2年生文章検定の合格率は92%、85%だった。 ②授業で、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいる生徒の割合は81.9%。

## 5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	72(-2)	自分にはよいところがある	80.1
数学	55(-5)	先生はよいところを認めてくれる	77.4
英語	51(-5)	将来の夢や目標を持っている	82.1
	( )は県平均との差	人の役に立つ人間になりたい	96.6

### 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 16/24	新体力テストの県平均を上回る項目数を40%以上にするという目標に対して、目標達成できた。	○全学年、50m走、シャトルラン、ハンドボール投げを県平均以上にする。 ○体育的行事の体力づくりへの生徒の参加率の向上。 ○朝食をとる生徒の割合を高める。	○体育の授業の補強運動で、計画的に弱点補強を行う。 ○縦割り集団を活用し、体育的行事を体力づくりに活用する。 ○保体委員会を中心とした、生活習慣の指導や食育の場面を設定する。
(女子) 8/24			

目標値	新体力テストの県平均を上回る項目数を50%以上にする。
-----	-----------------------------

### 「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査) (%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	83.8
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	58.1
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	61.9
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	85.7

### 福山100NEN教育アンケート[対象:授業者] (%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	70.0	30.0
仕事に充実感がある	55.0	45.0

### 児童生徒アンケート(%) (R1年12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	77.9	22.1
自分の考えは、認められている	84.3	15.7

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	2.2
不登校	3.17